

主催：応用物理学会微小光学研究会

協賛：日本光学会，電子情報通信学会エレクトロニクスソサイエティ，オプトロニクス社，アドコム・メディア



第 180 回微小光学研究会

「生体と微小光学：診断と医療のサイエンス」

近年，微小光学技術は生命科学・医療分野においても急速に発展し，計測・診断・治療の高度化に大きく貢献しています。本研究会では，生体計測，医療イメージング，光治療技術などをテーマに，生体と微小光学の融合が切り拓く新たな可能性について議論します。最新の研究成果や技術動向を共有するとともに，今後の展望について理解を深める場としたいと考えております。多くの皆様のご参加を心よりお待ちしております。

日時：2026 年 10 月 21 日（水）13:00-17:10

会場：横浜国立大学教育文化ホール大集会室

（オンライン同時開催予定）

〒240-8501 横浜市内保土ヶ谷区常盤台 79-1

<https://www.ynu.ac.jp/access>

交通：①JR 線等「横浜」駅西口より相鉄・横浜市営バス 20 分，
「横浜国立大学正門前」下車徒歩 2 分，「岡沢町」下車
徒歩 5 分
②横浜市営地下鉄ブルーライン「三ツ沢上町」駅より徒歩 20 分
③相鉄・JR/東急直通線「羽沢横浜国大」駅より徒歩 25 分



プログラム

13:00-13:10	開会の挨拶	
13:10-13:40	高速波長走査型 VCSEL を用いた SS-OCT システムの開発	諫本圭史 (santec)
13:40-14:10	高分子薄膜のデバイス化技術と光がん治療への展開	齋藤優人，藤枝俊宣 (東京科学大)
14:10-14:40	中赤外光による非侵襲血糖値センサー	山川考一 (ライトタッチテクノロジー)
14:40-15:00	<休憩>	
15:00-15:30	テラヘルツ波による内耳蝸牛の 3 次元非破壊観察	芹田和則 (早稲田大)，藤田岳 (神戸大)
15:30-16:00	光誘導加速システムの医療・食品・環境計測への応用と光源技術の開発	飯田琢也，床波志保，中瀬生彦 (大阪公立大)
16:00-16:30	誘導ラマン散乱 (SRS) 顕微法による生体イメージング	小関泰之 (東京大)
16:30-17:00	マイクロ光造形技術の進展とバイオ・医療応用	丸尾昭二 (横浜国大)
17:00-17:10	閉会の挨拶	

参加費（消費税込，予稿集代含む）：応用物理学会会員 4,000 円，非会員 5,000 円

学生・シニアの応用物理学会会員 1,000 円，学生・シニアの非会員 2,000 円

参加申込：要事前申込。 <https://www.comemoc.com/> よりお申込ください。

（開催日の数日前に予稿集と請求書を郵送いたしますので，参加費を後日お支払いください。）

担当委員：荒川（横浜国大），石井（古河電気工業），木村（東芝），坂井（リコー），渡邊（鹿児島大）

問合せ先：微小光学研究会事務局 office ■ comemoc.com（■を@に換えてください。）

微小光学研究会 代表：伊賀健一 運営委員長：波多腰玄一 実行委員長：宮本智之

副代表：中島啓幾 運営副委員長：横森清 実行副委員長：荒川太郎，高橋浩

※プログラムは微小光学研究会のウェブサイト <https://www.comemoc.com/> でもご覧いただけます。

※オンライン同時開催予定です。現地会場における聴講は先着順のため，会場の定員(100 名)に達する場合はオンライン聴講となりますのでご了承ください。